

メーカー施工

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

耐火被覆材はシートの時代へ
SKタイカシート
発泡性耐火被覆材

世界初



これまでの耐火被覆材の常識を覆す、シート材を世界で初めて開発。

湿式から乾式へ。時代は変わります。

SKタイカシートは、鉄骨の意匠を活かす次世代の耐火被覆材です。

シートタイプで1時間、2時間の耐火認定を取得しました。

梁は1.5mmまたは3mm、柱は1.7mmまたは3mmと薄く、耐火塗料との複合認定も取得しています。

SKタイカシートは、膜厚管理も不要となるスマートマテリアルです。



SKタイカシートが叶える3つのメリット

1
工期短縮

2
薄膜

3
意匠性UP

SKタイカシートは、
スペースの有効性を求められる建物、
意匠性の高い建物、短期間工事を求め
られるリニューアルなど、幅広い需要
に対応して市場拡大しております。

認定番号

●SKタイカシート

耐火時間	部 位	認定番号	主材膜厚(mm)	適用鋼材	
				断面形状	鋼材サイズ(mm)
1時間	小部材 柱	FP060CN-0584※1	3.0 (1.5mm厚シート2重貼り)	角	100×100×4.5～300×300×9※2※4
				丸	φ128×4.5～φ382×9※2※4
	柱	FP060CN-0598	1.7	角	300×300×9～1000×1000×40※2※4
				丸	φ382×9～φ1016×40※2※4
	柱	FP060CN-0009	3.0	角	300×300×9以上
				丸	φ318.5×9以上
	梁	FP060BM-0115	1.5	H	400×200×8×13以上
2時間	柱	FP120CN-0512	3.0 (1.5mm厚シート2重貼り)	角	300×300×19～ 1000×1000×40
				丸	φ300×23.6以上、φ317.7×22以上、※3 φ325.4×21.4以上、φ361.4×19以上
	梁	FP120BM-0336	3.0 (1.5mm厚シート2重貼り)	H	400×200×12×22以上

※1：一部、鋼材サイズにより認定番号が異なります。認定番号 FP060CN-0584-1：詳細については P25、P29 の上段を確認してください。

※2：幅厚比の制限があります。詳細は、認定書で確認してください。

※3：角鋼管の断面積以上かつ、外径以上、厚み以上が条件となります。

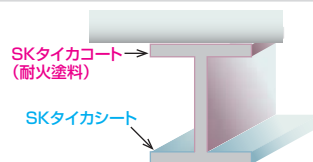
※4：丸鋼管については、P23～P26、角鋼管については P27～P30 の早見表で確認してください。

注）認定仕様の詳細については、別途お問い合わせください。

●SKタイカコート・SKタイカシート複合

耐火時間	部 位	認定番号	主材膜厚(mm)	適用鋼材	
				断面形状	鋼材サイズ(mm)
1時間	梁	FP060BM-0152	1.5(SKタイカシート:フランジ) 1.0(SKタイカコート:ウェブ)	H	400×200×8×13以上

1時間耐火では梁の下フランジにシート、ウェブ及び上フランジに耐火塗料を
施工法も可能となり、梁への施工が容易になります。
認定仕様の詳細については、別途お問い合わせください。



SKタイカシートが叶える 3 つのメリット!

メリット
1

工期を大幅に短縮

1時間耐火の場合、SKタイカシートを、1～2枚貼るだけで仕上げられます。
2時間耐火の場合、SKタイカシートを、2枚貼るだけで仕上げられます。
耐火塗料と比較して、実に工期を1/4に短縮、3日程度で仕上げられます。
鋼管柱を仕上げる場合、1,2時間とも既存仕上用耐火被覆と比較して工期を短縮出来ます。

各種耐火被覆材を用いた鋼管意匠工法の工程比較 屋内

1時間耐火:φ318.5×9(mm)

製品名	厚み (mm)	工程(日)																				計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
SKタイカシート	3	シート・パテ・ 上塗り																				3
耐火塗料 (SKタイカコート)	2.5	下塗り	主材塗り		乾燥・養生			上塗り														9
セラミック系 耐火被覆材 (セラタイカ2号)	20	左官塗り		乾燥・養生											シーラー・パテ・ 上塗り							16
けい酸 カルシウム板	15* (45)	ケイカル板	シーラー・パテ・ 上塗り																			5

※上段は認定の厚み、()内は実施工の厚みとなります。

SKタイカシートは、
1時間耐火、2時間耐火どちらも、
たった3日で施工完了

2時間耐火:φ318.5×22(mm)

製品名	厚み (mm)	工程(日)																				計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
SKタイカシート	1.5×2	シート・パテ・ 上塗り																				3	
耐火塗料 (SKタイカコート)	4.5	下塗り	主材塗り				乾燥・養生				上塗り											13	
セラミック系 耐火被覆材 (セラタイカ2号)	30	左官塗り			乾燥・養生											シーラー・パテ・ 上塗り							20
けい酸 カルシウム板	35* (45)	ケイカル板	シーラー・パテ・ 上塗り																			5	

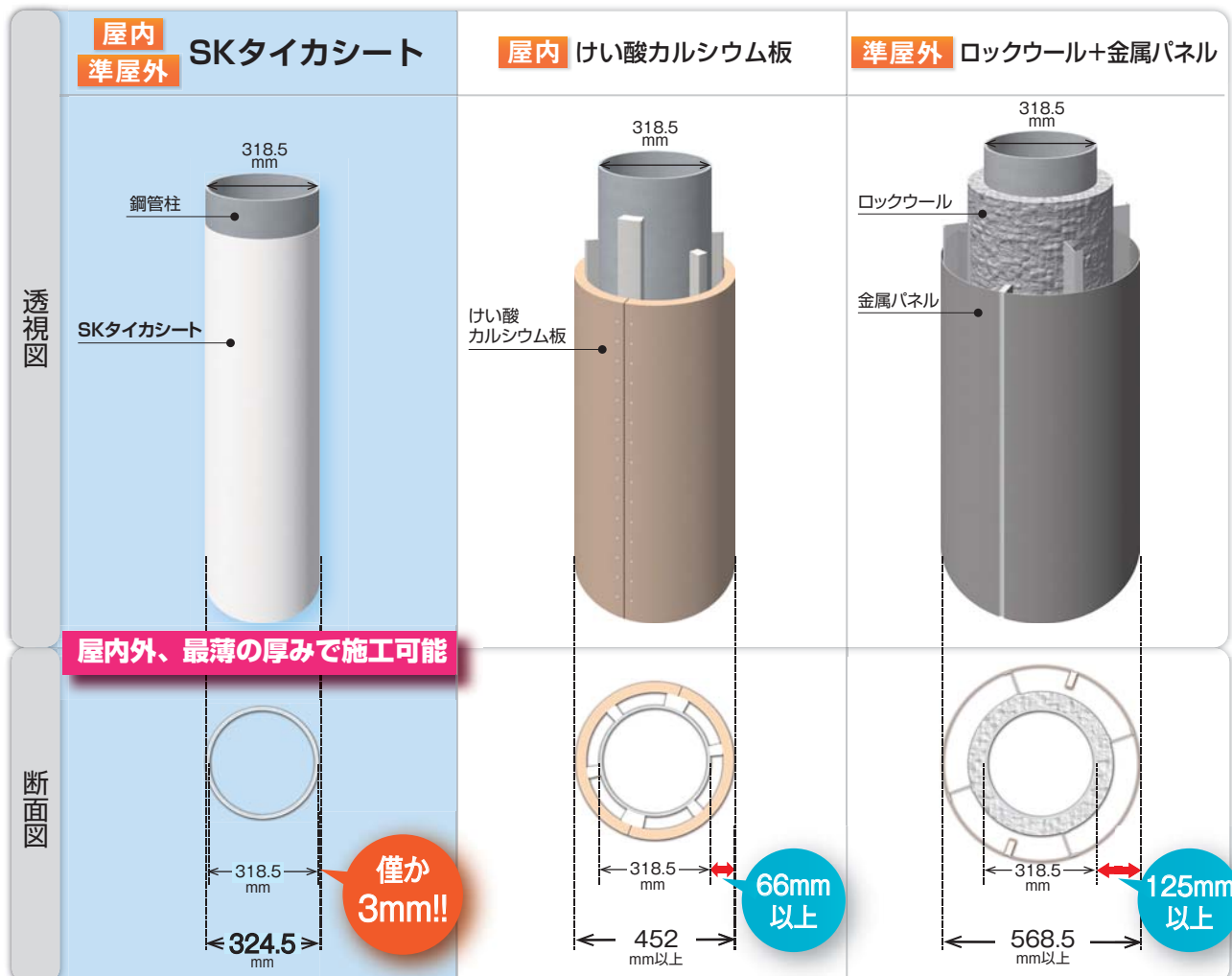
※上段は認定の厚み、()内は実施工の厚みとなります。

メリット
2

耐火被覆材として最も薄い厚みを実現

SKタイカシートは、屋内・準屋外どちらも、鋼管柱の外径とほとんど変わらない仕上げが可能となり、他の耐火被覆材に比べて薄膜に仕上げる事が出来ます。床面積、並びに室内の有効スペースが広がります。

● 鋼管柱 318.5mm / 1時間耐火比較



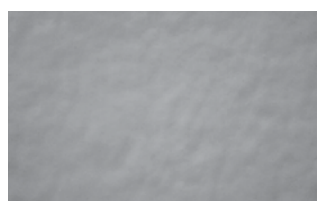
メリット
3

美しい表面仕上げにより、意匠性UP

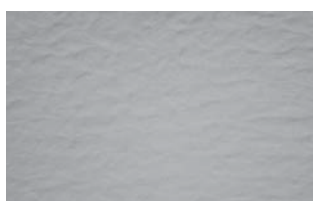
耐火塗料では困難であった平滑仕上げが可能になる他、仕上材の選定で意匠性が向上します。

通常の耐火塗料*

※表面はゆず肌状の仕上げになります。
また、ローラーに中毛を使用する場合は、凹凸が著しくなります。



■エアレススプレー塗り



■ローラー塗り（短毛）

SKタイカシート



+α こんな場合はSKタイカシートがおすすめ!

ケース
1

高い意匠性を求めるシート仕上げ施工

SKタイカシートは、塗装仕上げだけでなく、塩ビシートや弊社商品であるグラニピーエーレなどシート建材仕上げの施工が可能です。SKタイカシートとシート建材との併用により、建物のデザインの幅を広げることが出来ます。

外観



内観



SKタイカシートを施工後、シート建材を施工

ケース
2

けい酸カルシウム板の破損による改修工事

倉庫、配送センター、工場などの柱に乾式ボード類を採用されている物件では、フォークリフト及び地震などの揺れによる衝撃から乾式ボード類が破損し、そのメンテナンスにお困りではありませんか。SKタイカシートであれば、リニューアルの改修工事でも材料の飛散無く、施工が出来ます。また、工期が短く、低臭でメンテナンスが可能です。

Before



けい酸カルシウム板の破損

After



けい酸カルシウム板を撤去後、
SKタイカシートを施工

ケース
3

スリーブ貫通及び高層建物の天井部分の施工

鉄骨梁の耐火被覆材を検討する際、被覆材の厚みによりスリーブ貫通部の適正な有効径が確保出来ず、お困りではありませんか。薄さが強みのSKタイカシートであれば、スリーブ貫通部の有効径を狭めることなく施工ができ、見た目もすっきりキレイな仕上がりが可能です。

また、天井高を高く取りたい場合も、SKタイカシートであれば天井高スペースを狭めることなく有効活用出来ます。



スリーブ貫通部



天井

ケース
4

ロックウールの脱落による改修工事

駐車場などで、ロックウールが破損した場合、ロックウールを除去した後にSKタイカシートを施工します。SKタイカシートであれば、リニューアルの改修工事でも材料の飛散無く、施工が出来ます。また、工期が短く、低臭でメンテナンスが可能です。



ロックウールの脱落



ロックウールを撤去後、SKタイカシートを施工

SKタイカシートは安定した耐火性能を示します

試験
1

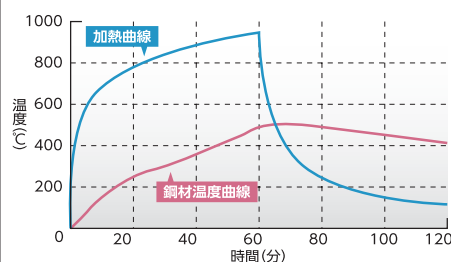
柱 1 時間・載荷加熱試験結果 ((一財) 日本建築総合試験所)

試験規格: (一財) 日本建築総合試験所、建築評定センター制定

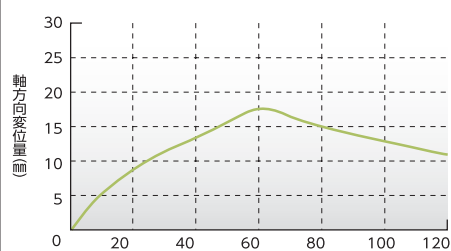


載荷加熱試験: 試験体に荷重をかけながら加熱し、耐火性能を評価する方法。

□ 載荷加熱試験 (加熱曲線 / 鋼材温度曲線)



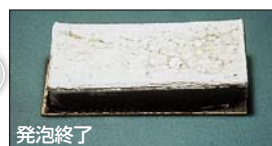
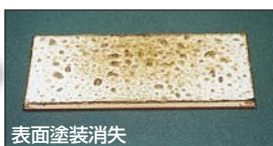
□ 載荷加熱試験 (軸方向変位量曲線)



試験
2

加熱発泡機構

SKタイカシートの外観は、通常時は一般塗装仕上げと同様ですが、火災時に熱を受けると250℃前後で発泡を開始し、炭化層を形成します。その炭化層が断熱層となり、鉄骨の温度上昇を抑えます。



試験
3

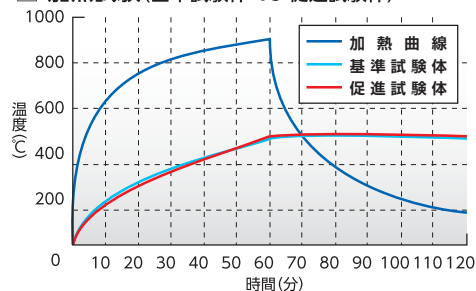
耐久性能

SKタイカシートは促進試験(凍結融解試験)を実施しております。凍結融解試験後も、初期と同等の性能を維持しています。

凍結融解試験、21サイクル後も
初期と変わらない性能を維持

高湿度養生 48 時間 (40℃、95%RH) 後、凍結融解 (1 サイクルは、-20℃ 4 時間、20℃ 4 時間) を 21 サイクル実施

□ 加熱試験 (基準試験体 VS 促進試験体)



柱
屋内/準屋外

標準施工手順

鋼管柱は、SKタイカシートをボンドで貼り付けるだけで、耐火被覆が実現できます。
1時間耐火は鋼管サイズ毎に3mm・1.7mm厚シートの1枚貼り、及び1.5mm厚シートの2枚貼り仕様、2時間耐火は1.5mm厚シートの2枚貼り仕様で性能が確保されます。

01 SKタイカシートボンドを塗付する (さび止めペイント下地)



02 墨出し位置に合せ、 SKタイカシートを貼り付ける



03 SKタイカシート端部は突合せ、 順次、SKタイカシートを貼り付ける



04 縦、横目地部に ガラスメッシュテープを接着する



05 ヒートガンで加温し、ローラーを用 いて、ガラスメッシュテープをシート 面に融着させる



06 仕上げパテをする (目地部パテ処理もしくは縦パテ処理)



FIX



仕上例1:上塗り(塗装仕上げ)

FIX



仕上例2:塩ビシート貼り及びシート建材貼り

部位別施工仕様例

標準施工仕様例

●屋内柱(1時間耐火／3mm厚)

工 程		使 用 材 料	調 合 重 量 比	所要量 (kg／㎡)	塗 回 数	間隔時間 (hr)		塗装方法	
						工程内	工程間		
工場施工	素地調整	●ディスクサンダー、ワイヤーブラシ等により素地調整2種相当：ISOst-3 (SSPC-SP3) ※1まで除錆してください。 特に溶接部は入念に行ってください。 ●水分、油脂類は付着低下の原因となるため、溶剤等で除去してください。							
	下塗り※2	SKタイカコート下塗材M 主剤	100	0.14 ～0.17	1	－	16以上 30日以内	エアレススプレー 刷毛 ローラー	
		SKタイカコート下塗材M 硬化剤	25						
		塗料用シンナーA ※3	0～10						－
現場施工 ※4	下地調整	●工場施工での下塗りの剥がれ部、接合部等は補修塗りを行ってください。 ●工具、ウエス等により表面のごみ、汚れ、水分を除去、清掃してください。							
	ボンド	SKタイカシートボンドR	100	0.10 ～0.14	1	－	4以上	刷毛 ローラー	
		SKタイカシートボンドR用添加剤	1.5						
	シート	SKタイカシート	SKタイカシートを墨出し位置に合わせ貼り付けた後、ローラーを用いて中心から端部へ強く圧着する。						
	ガラスメッシュテープ	ガラスメッシュテープ	－					－	ローラー
	パテ	パテ処理	目地部、必要に応じて総パテを行う。					16以上	ヘラ
	シーラー	SKタイカシートトップシーラー 主剤	100	0.10 ～0.14	1	－	4以上	エアレススプレー 刷毛 ローラー	
		SKタイカシートトップシーラー 硬化剤	50						
	上塗り※5	SKタイカコート上塗材A	100	0.24 ～0.30	2	2以上	－	エアレススプレー 刷毛 ローラー	
		清水	5～15						－

●準屋外柱(1時間耐火／3mm厚)

工 程		使 用 材 料	調 合 重 量 比	所要量 (kg/㎡)	塗 回 数	間隔時間 (hr)		塗装方法
						工程内	工程間	
工場施工	素地調整	●ディスクサンダー、ワイヤーブラシ等により素地調整2種相当:ISOst-3 (SSPC-SP3) ※1まで除錆してください。 ※6 特に溶接部は入念に行ってください。 ●水分、油脂類は付着低下の原因となるため、溶剤等で除去してください。						
	下塗り ※2	SKタイカコート下塗材M 主剤	100	0.14 ~0.17	1	-	16以上 30日以内	エアレススプレー 刷毛 ローラー
		SKタイカコート下塗材M 硬化剤	25					
		塗料用シンナーA ※3	0~10					
現場施工 ※4	下地調整	●工場施工での下塗りの剥がれ部、接合部等は補修塗りを行ってください。 ●工具、ウエス等により表面のごみ、汚れ、水分を除去、清掃してください。						
	ボンド	SKタイカシートボンドR	100	0.10 ~0.14	1	-	4以上	刷毛 ローラー
		SKタイカシートボンドR用添加剤	1.5					
	シート	SKタイカシート	SKタイカシートを墨出し位置に合わせ貼り付けた後、ローラーを用いて中心から端部へ強く圧着する。					
	ガラスメッシュテープ	ガラスメッシュテープ	-				16以上	ローラー
	パテ	パテ処理	目地部、必要に応じて総パテを行う。				16以上	ヘラ
	シーラー	SKタイカシートトップシーラー 主剤	100	0.20 ~0.28	2	4以上	16以上 ※7	エアレススプレー 刷毛 ローラー
		SKタイカシートトップシーラー 硬化剤	50					
	上塗り ※5	SKタイカコート上塗材U 主剤	100	0.24 ~0.30	2	3以上 7日以内	-	エアレススプレー 刷毛 ローラー
		SKタイカコート上塗材U 硬化剤	17.9					
塗料用シンナーA		0~20	-					

●屋内梁(1時間耐火／1.5mm厚)

工 程		使 用 材 料	調 合 重 量 比	所要量 (kg／㎡)	塗 回 数	間隔時間 (hr)		塗装方法
						工程内	工程間	
工場 施 工	素地調整	●ディスクサンダー、ワイヤーブラシ等により素地調整2種相当：ISOst-3 (SSPC-SP3) ※1まで除錆してください。 特に溶接部は入念に行ってください。 ●水分、油脂類は付着低下の原因となるため、溶剤等で除去してください。						
	下塗り※2	SKタイカコート下塗材M 主剤	100	0.14 ～0.17	1	－	16以上 30日以内	エアレススプレー 刷毛 ローラー
		SKタイカコート下塗材M 硬化剤	25					
		塗料用シンナーA ※3	0～10					
現場 施 工 ※4	下地調整	●接合部の凸部を動力工具で、研磨し、平滑にするとともに、発錆部分を素地調整2種処理を行ってください。						
	下塗り※2	SKタイカコート下塗材M 主剤	100	0.14 ～0.17	1	－	16以上 30日以内	エアレススプレー 刷毛 ローラー
		SKタイカコート下塗材M 硬化剤	25					
		塗料用シンナーA ※3	0～10					
	下地調整	●工場施工での下塗りの剥がれ部、接合部等は補修塗りを行ってください。 ●工具、ウエス等により表面のごみ、汚れ、水分を除去、清掃してください。						
	ボンド	SKタイカシートボンドR	100	0.10 ～0.14	1	－	4以上	刷毛 ローラー
		SKタイカシートボンドR用添加剤	1.5					
	シート	SKタイカシート	●SKタイカシートを墨出し位置に合わせ、縦貼りにて貼り付ける。目地部は突合せ、もしくは重ね合せ(10mm以上)となるよう順次シートを貼り付ける。貼り付けた後、ローラーを用いて中心から端部へ強く圧着する。					
	熱融着	●突合せ目地の場合、目地が消えるまで熱融着する。						ヒートガン・ヘラ アイロン
	シーラー	SKタイカシートトップシーラー 主剤	100	0.10 ～0.14	1	－	4以上	エアレススプレー 刷毛 ローラー
		SKタイカシートトップシーラー 硬化剤	50					
	上塗り※5	SKタイカコート上塗材A	100	0.24 ～0.30	2	2以上	－	エアレススプレー 刷毛 ローラー
		清水	5～15					

※1：素地調整2種相当 (ISOst-3,SSPC-SP3)：完全に付着している黒皮(塗膜)は残しますが、さびは除きます。
※2：認定によっては、JIS K 5674の施工が可能です。
※3：下塗材の希釈率は、主剤100に対して、スプレー塗りで「5~10」、刷毛・ローラー塗りで「0~10」となります。また、★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXも使用いただけます。ただし、その他の材料は混ぜないでください。
※4：強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、露点気温、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に弊社担当者との十分な打ち合わせを行ってください。
※5：認定によっては、塩ビシート及びシート建材等施工が可能です。
※6：溶融亜鉛メッキ下地でも使用可能です。仕様については別途お問い合わせください。
※7：工程が確保出来なかった場合、シートの可塑性移行により、上塗り施工後にタックが発現する可能性があります。

材料構成

分 類	材 料 名	組 成 等	荷 姿
下塗材	★SKタイカコート下塗材M	変性エポキシ樹脂系	16kgセット／主剤12.8kg石油缶／硬化剤3.2kg缶
ボンド	SKタイカシートボンドR	特殊アクリル樹脂系	18.27kgセット／主材18kg石油缶／添加剤0.27kg缶、 4.06kgセット／主材4kg缶／添加剤0.06kg缶
シート	SKタイカシート	特殊アクリル樹脂系	3mm厚品:10枚セット(450mm×1000mm) 1.5mm厚品:20mロール(450mm×20m)／12枚セット(450mm×1600mm) 1.7mm厚品:18mロール(450mm×18m)／11枚セット(450mm×1600mm)
ガラスメッシュ テープ	MKブリッジテープ シームレステープ	ガラスメッシュテープ ガラスメッシュテープ	35mm×90m 35mm×90m
トップシーラー	SKタイカシートトップシーラー	水性2液反応硬化形エポキシ樹脂系	12kgセット／主剤8kg石油缶／硬化剤4kg缶
上塗材	★SKタイカコート上塗材U ★SKタイカコート上塗材Si ★SKタイカコートF中塗材 ★SKタイカコート上塗材F SKタイカコート上塗材A	弱溶剤ポリウレタン樹脂系 弱溶剤シリコン樹脂系 弱溶剤ふっ素樹脂系 弱溶剤ふっ素樹脂系 水性反応硬化形アクリル樹脂系	16.5kgセット／主剤14kg石油缶／硬化剤2.5kg缶 4.17kgセット／主剤3.5kg缶／硬化剤0.67kg缶 4.17kgセット／主剤3.5kg缶／硬化剤0.67kg缶 4.17kgセット／主剤3.5kg缶／硬化剤0.67kg缶 16kg石油缶、4kg缶

●危険情報と安全対策
製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤系のため、下記の点に注意してください。
1) 引火性の液体のため、火気厳禁です。特に屋内仕様では、換気や通風が不十分になり、溶剤蒸気が滞留しやすいため、ご注意ください。
2) 有機溶剤中毒の恐れがあるため換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3) 屋外環境においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。
※ 屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。
●施工上の注意
本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

用途

- 大空間構造物・アトリウム・ショールーム・室内競技場・事務所ビル・工場・倉庫等の丸鋼管柱、角鋼管柱及び梁
- 耐火被覆材のリニューアル

適用上塗材一覧

種 類	製 品 名	艶 の 種 類	適 用
アクリル樹脂系	SKタイカコート上塗材A	艶有り、半艶、3分艶、艶消し	屋内
ポリウレタン樹脂系	SKタイカコート上塗材U	艶有り、5分艶、3分艶	屋内、準屋外
シリコン樹脂系	SKタイカコート上塗材Si	艶有り、5分艶、3分艶	屋内、準屋外
ふっ素樹脂系	SKタイカコート上塗材F*	艶有り、5分艶、3分艶	屋内、準屋外

*SKタイカコートF中塗材／SKタイカコート上塗材Fの仕様となります。
注)他の上塗材(シート建材等)につきましては、弊社担当者にお問い合わせください。

ケース別施工仕様例

梁
屋内

スプライスプレート／スチフナ

梁は、1.5mm厚のSKタイカシートをボンドで貼り付けるだけで、1時間耐火が実現でき、1.5mm厚シート2枚貼りで2時間耐火の性能を示します。

01

SKタイカシートボンドを
ローラーで塗付する



02

スプライスプレート、
スチフナ部分は先行貼りする



03

SKタイカシートを貼り付け、シート
端部は、突合せもしくは、10mm
以上の重ね貼りする



FIX

スプライスプレート部分



FIX

スチフナ部分



柱
屋内／準屋外

エレクションピース／シーム跡

下地なりの施工で仕上げる事が可能です。

01

極力、溶断研磨処理
を行う



02

下塗材施工後、凹凸部分は、SKタイ
カシートをヒートガンで加熱し、隙間
が出来ないようにローラーで圧着する



FIX



柱
屋内／準屋外

エレクションピース／シーム跡があり、完全平滑をご要望の場合

エレクションピースや溶接ビードなどは、溶断研磨処理してください。

01

溶断研磨処理を行う



エレクションピース
切断研磨跡
溶接ビードの研磨跡

02

パテで不陸調整してから、
下塗材施工後、SKタイカ
シートを貼り付ける



FIX



柱
屋内/準屋外

ダイアフラム

SKタイカシートを切り貼りし、目地部を熱融着することで、仕上げる事が可能です。

01

ダイアフラム部分は、本寸法に合わせてSKタイカシートを切断する



02

SKタイカシートをヒートガンで加温する



03

ローラーで圧着する



FIX



柱
屋内/準屋外

梁にロックウールを使用した場合

施工手順は、先行でダイアフラム下の柱部分にSKタイカシートを施工した後、梁、パネルゾーンに吹付けロックウールを施工します。その際、SKタイカシートに吹付けロックウールをその被覆厚さ以上ラップし、その後、SKタイカシートを仕上げることで耐火性能が担保できます。

01

柱の根元にボンドを塗付する



02

SKタイカシートを貼り付ける



03

SKタイカシートの上から養生する



04

ロックウールを施工する



FIX

SKタイカシートを仕上げる



準屋外施工仕様納まり図

柱
準屋外

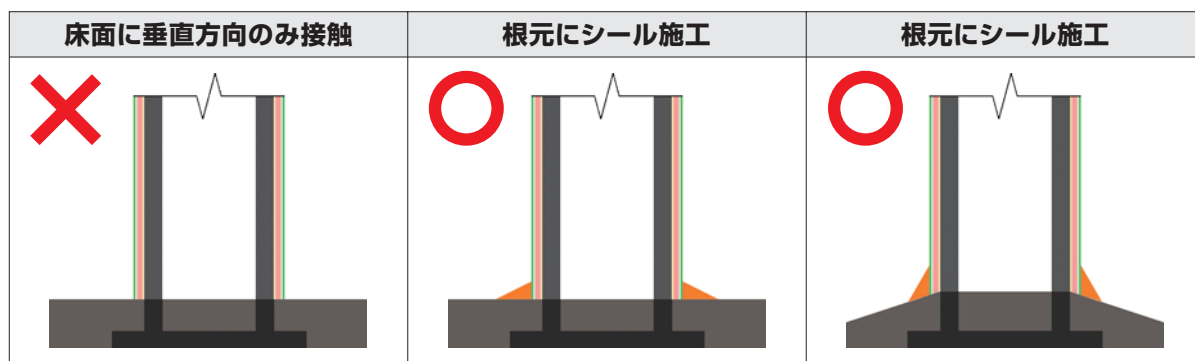
部位別施工上の注意点

SKタイカシートには、準屋外における柱に適用可能な仕様があります。

※SKタイカシートは、全て弊社メーカー施工となります。施工の詳細は、別途施工計画書をご参照ください。

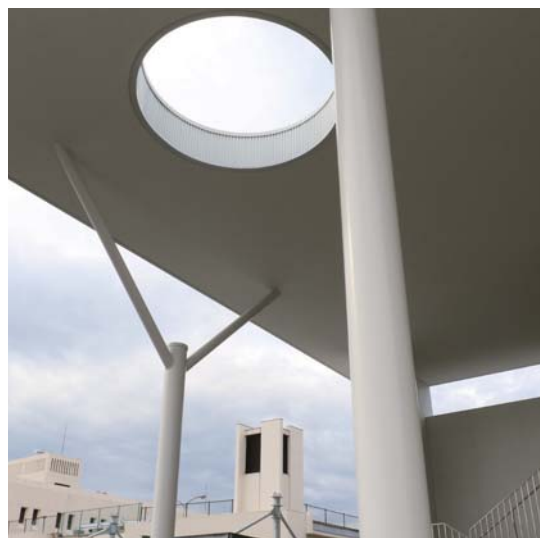
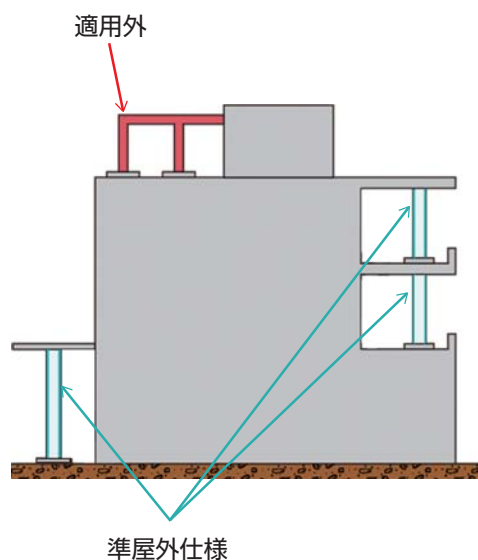
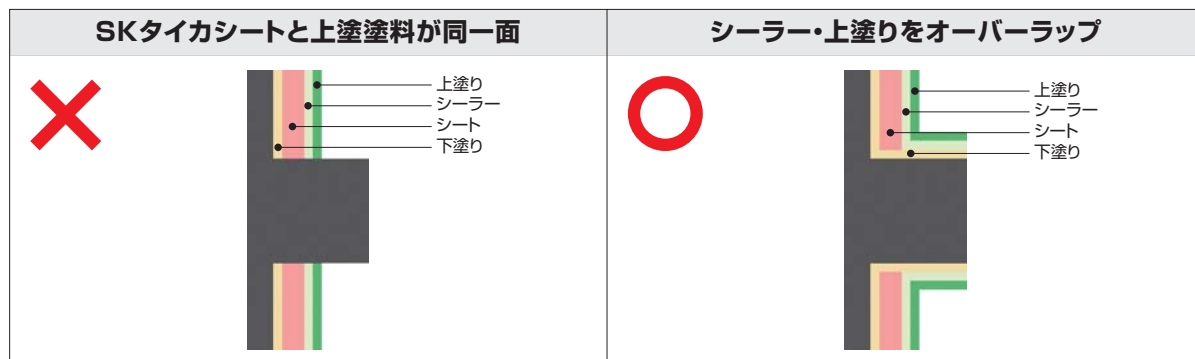
1. 根本処理（シール処理）（例）

柱の根元は、床面接触部に雨水が滞留しない処理とする。



2. 無耐火部材処理（例）

無耐火部分との取合い処理



取扱説明書（準屋外環境）

1.使用上の注意点

本製品は、下塗り用塗料（さび止め塗料）、SKタイカシート、シーラーおよび上塗り用塗料の複層で構成されています。SKタイカシートは、シーラー、上塗り用塗料により保護されることで、その性能は維持されます。しかしながら、上塗り用塗料やシーラーの塗膜劣化や傷等により、雨水がSKタイカシートへ浸入した場合、SKタイカシート自体の割れ、浮き、剥離等の予測不可能な塗膜劣化が生じ、耐火性能が低下します。これを防止するため、日常点検による上塗り用塗料の塗膜劣化を早期に発見して頂くとともに、傷等がある場合も、補修又は塗増しを実施してください。



[本製品を施工した塗膜面には、傷等を付けないでください（塗膜面への金物の設置等）。雨水が浸入することで、SKタイカシートが剥離する可能性があります。]

2.維持管理

本製品は、建築物が供用される期間において耐火性能を維持する必要があります。このため、お引き渡し後は、建物所有者様が定期的な自主検査をして頂き、傷や上塗り用塗料の塗膜劣化の早期発見と共に、適切な補修または塗増し等を実施してください。推奨する点検の概要を下表に示します。

点検種類	方法	点検周期
日常点検	目視	1年毎に1回
臨時点検	目視・触診	日常点検で異常が認められた時

劣化には以下の種類がありますので、参考にしてください。

項目	内容
白亜化	塗膜表面が離脱しやすい粉状になる現象
われ	塗膜に裂け目ができる現象
ふくれ	塗膜がガスまたは液体を含んでいる状態
はがれ	塗膜が付着力を失って被塗面から離れる現象

3.期待耐用年数

上塗りの種類により、期待耐用年数が異なります。本サイクルでの塗増しを推奨します。

上塗材	塗増し時期	備考
ポリウレタン樹脂系	10～12年程度	地域、立地条件、施工部位、方角等により異なりますので、参考値としてお考えください。
アクリルシリコン樹脂系	12～15年程度	
ふっ素樹脂系	15～20年程度	

改修

空港

複合施設



旭川空港(北海道)
使用部位：屋内丸柱(白)



スカイストリート(愛知県)
使用部位：屋内丸柱(ライトグレー)



公共施設

保育施設



認定こども園 愛泉こども園(新潟県)

使用部位：バルコニー準屋外丸柱・角柱(白)





公共施設



高砂市立図書館(兵庫県)

使用部位：屋内丸柱(グレー)



複合施設



大村進・美枝子記念 聖路加臨床学術センター(東京都)

使用部位：天井プレート屋内梁(グレー)

吹き抜け中心の屋内角柱(ライトグレー)



1.5 × 2 : FP060CN-0584 : 1.5mm × 2 枚 (φ 128 × 4.5mm 以上に適用可能)
1.7 : FP060CN-0598 : 1.7mm (φ 382 × 9mm 以上に適用可能)
3.0 : FP060CN-0009 : 3mm (φ 318.5 × 9mm 以上に適用可能)

1.5 × 2 : FP060CN-0584 : 1.5mm × 2 枚 (φ 128 × 4.5mm 以上に適用可能)
1.7 : FP060CN-0598 : 1.7mm (φ 382 × 9mm 以上に適用可能)
3.0 : FP060CN-0009 : 3mm (φ 318.5 × 9mm 以上に適用可能)

1.5 × 2 : FP060CN-0584 : 1.5mm × 2 枚 (φ 128 × 4.5mm 以上に適用可能)
1.7 : FP060CN-0598 : 1.7mm (φ 382 × 9mm 以上に適用可能)
3.0 : FP060CN-0009 : 3mm (φ 318.5 × 9mm 以上に適用可能)

1.5 × 2 : FP060CN-0584 : 1.5mm × 2 枚 (φ 128 × 4.5mm 以上に適用可能)
1.7 : FP060CN-0598 : 1.7mm (φ 382 × 9mm 以上に適用可能)
3.0 : FP060CN-0009 : 3mm (φ 318.5 × 9mm 以上に適用可能)

SKタイカシート 柱 1 時間耐火 鋼管寸法と認定膜厚表

400 級以外の場合

[illegible]

1.5 × 2 : FP060CN-0584-1 : 1.5mm × 2 枚 (□ 100 × 5.0mm 以上に適用可能)
1.7 : FP060CN-0598 : 1.7mm (□ 300 × 9mm 以上に適用可能)
3.0 : FP060CN-0009 : 3mm (□ 300 × 9mm 以上に適用可能)

注) 径が表記の中間の値の場合は、部材厚さは厚い方の数値以上とする。

[illegible]

1.5 × 2 : FP060CN-0584 : 1.5mm × 2 枚 (□ 100 × 4.5mm 以上に適用可能)
1.7 : FP060CN-0598 : 1.7mm (□ 300 × 9mm 以上に適用可能)
3.0 : FP060CN-0009 : 3mm (□ 300 × 9mm 以上に適用可能)

注) 径が表記の中間の値の場合は、部材厚さは厚い方の数値以上とする。

1.5 × 2 :	FP060CN-0584 : 1.5mm × 2 枚 (□ 100 × 4.5mm 以上に適用可能)
1.7 :	FP060CN-0598 : 1.7mm (□ 300 × 9mm 以上に適用可能)
3.0 :	FP060CN-0009 : 3mm (□ 300 × 9mm 以上に適用可能)

注) 径が表記の中間の値の場合は、部材厚さは厚い方の数値以上とする。

1.5 × 2 : FP060CN-0584 : 1.5mm × 2 枚 (□ 100 × 4.5mm 以上に適用可能)
1.7 : FP060CN-0598 : 1.7mm (□ 300 × 9mm 以上に適用可能)
3.0 : FP060CN-0009 : 3mm (□ 300 × 9mm 以上に適用可能)

北海道

札幌支店 ☎011-784-4000
旭川営業所 ☎0166-51-8094

東北

仙台支店 ☎022-259-2431
盛岡営業所 ☎019-654-8380
青森営業所 ☎017-762-3855
郡山営業所 ☎024-962-7673

関東

東京支店 ☎03-3204-6601
東京(第一・第二)営業所 ☎03-3204-6601
三多摩営業所 ☎042-564-5806
水戸営業所 ☎029-251-6515
新潟営業所 ☎025-285-6551
城東営業所 ☎03-3877-7770
静岡営業所 ☎054-284-1877
横浜支店 ☎045-820-2400
厚木営業所 ☎046-294-3666
千葉支店 ☎043-304-0411

北関東

埼玉支店 ☎048-686-2391
群馬営業所 ☎027-280-5350
宇都宮営業所 ☎028-657-5555
長野営業所 ☎026-239-6210
松本営業所 ☎0263-24-2677

中部

名古屋支店 ☎052-561-7712
名古屋営業所 ☎052-561-7712
浜松営業所 ☎053-462-7021
三河営業所 ☎0564-28-1614
岐阜営業所 ☎058-273-1981
北陸営業所 ☎076-266-1041
三重営業所 ☎059-254-3777

関西

大阪支店 ☎072-621-7721
大阪営業所 ☎072-621-7722
京都支店 ☎075-646-3967
南大阪営業所 ☎072-253-1910
神戸支店 ☎078-671-0451
姫路営業所 ☎079-281-5311

中国

広島支店 ☎082-943-5043
岡山営業所 ☎086-242-5520
山口営業所 ☎083-924-7575

四国

高松支店 ☎087-865-5411
松山営業所 ☎089-958-3780

九州・沖縄

福岡支店 ☎092-629-3427
北九州営業所 ☎093-621-8505
大分営業所 ☎097-555-9081
長崎営業所 ☎095-887-0871
熊本営業所 ☎096-344-5650
宮崎出張所 ☎0985-61-7779
鹿児島営業所 ☎099-284-5321
沖縄営業所 ☎098-862-5041

